



化学工学会エレクトロニクス部会ニュースをお届けします。主な内容は、2020年度第3回幹事会トピックです。新型コロナウイルス COVID-19 流行の影響を考慮し、今回もオンラインで実施しました。

■ 2020年度第2回幹事会トピック

- ・日時 令和二年（2020年）8月18日（火）14:00～17:00
- ・場所 オンライン会議
- ・出席者 羽深，横沢，宇井，老田，幸田，鳴井，斎藤，高木，高橋（昭），
荻野，及川，吉野 各幹事 計12名（敬称略）
- ・議事進行 羽深部会長

1. 前回（2020/6）幹事会議事録の承認

前回6月度の議事録が承認されました。

2. 会員異動，幹事名簿確認

宇部興産幸田幹事から鳴井幹事への交代に伴い，幸田幹事は今回の幹事会を以ての退任が報告されました。

3. 会計報告

令和2年（2020年）6月～7月度の会計報告があり，承認されました。部会会員担当業務を，斎藤幹事（大阪府立大）の元研究室事務の方に委託したために委託する費用の支払いを行いました。詳細は資料1を参照します。

4. 化学工学会部会秋季大会について

◇第51回秋季大会

日時 2020年9月24日（木）～26日（土）

場所 オンライン開催

- 秋季大会は当初岩手大学にて開催する計画でしたが，新型コロナウイルスの流行を受けて，最終的にすべてのセッションをオンラインで開催することが決定されました。これに伴い，懇親会を含め現地（岩手大学）での行事はすべて中止となります。

http://www3.scej.org/meeting/51f/pages/jp_announcement.html

- 秋季大会部会シンポジウムを，会期初日の9月24日（木）にオンライン開催します。エレクトロニクス部会シンポジウム，特別シンポジウム合わせて，招待講演を含む計13件の講演・発表を予定しています。

9:00-13:20 エレクトロニクス部会シンポジウム「エレクトロニクス材料とプロセス技術」

13:20-17:00 特別シンポジウム「エレクトロニクスを支える材料・プロセス研究と実装技術の展開」

5. 2020年度エレクトロニクス部会シンポジウム（エレクトロニクス 先端技術シンポジウム）について

2020年度のエレクトロニクス部会 先端技術シンポジウムは、12月21日開催で調整中です。今のところ会場での開催と、オンライン開催を併用する方式を考えていますが、今後の状況変化により、変更となる可能性があります。

20年度のシンポジウムは、「地方創生や近未来の農工業を担うエレクトロニクス」をキーワードに、5Gの応用と化学工学への期待に関するプログラムを検討中です。楽しみにお待ちください。

6. 次回幹事会、エレクトロニクス先端技術 定期講演会

日時 2020年10月で調整中

場所 会場での開催と並行し、オンラインでの開催を予定

講演会 調整中

★ご案内

高木幹事 著の新刊

トコトンやさしい半導体パッケージ実装と高密度実装の本

ISBN: 978-4-526-08064-7

が、日刊工業新聞社より発売となりました。半導体実装技術の概説の他、材料・検査技術、品質保証・解析、次世代の実装技術など、盛りだくさんの内容となっています。是非書店等でお手に取ってみてください。



■あとがき

長い梅雨が明けた途端に連日の猛暑。新型コロナウイルスの流行も依然として衰えを見せず、また会員の皆様の中にも、引き続き在宅勤務を継続中、と言う方も多いかと思えます。かく言う私も今は入社するのは週1,2回が良いところ、と言う状態で、オン・オフの切り替えと、運動不足が気になる今日この頃……。もちろん在宅勤務のできない業務の方も多いたと思いますが、今年は好むと好まざるに関わらず、働き方改革が外的要因により急加速した年といえるでしょう。こういう変革の時期には、往々にして様々な課題が露見します。テレワークにしても、テレワークに必須のオンライン会議にしても、ここに来てメリットと課題が顕在化したように思います。巣ごもり需要の増大により業績好調となった業界、人の移動が減ったことにより苦しい業界など様々と思えますが、こういう変革の時こそチャンスが転がっている、と考えることにしたいと思います。幸い当部会には、エレクトロニクスに関連した様々な企業・研究機関の会員が集まっています。単独では解決の難しい課題も、連携することにより出口が見えることは多々あります。そんなプラットフォームとして当部会を活用いただければ、と思う次第です。

化学工学会 エレクトロニクス部会

ご意見・お問合せ先 electro_div@chemeng.osakafu-u.ac.jp

■資料 1

令和2年（2020年）6月～7月度会計報告

1. 前回残高（令和2年5月末）

口座残高	<u>2,250,409</u> 円 ①
積立金	<u>1,300,000</u> 円
実質残高	<u>950,409</u> 円

2. 今回収入と支出

項目	日時	内容	金額（円）
収入	2020/7/31	部会交付金（2020年度）	100,000
	2020/7/31	APCChE2019 利益分配金	59,000
収入計			159,000 ②
支出	2020/6/23	会員担当業務委託料（2020/3～2021/2分）	200,000
	2020/6/23	振込手数料	440
支出計			200,440 ③
月次収支			△ 41,440 ②-③
全体収支 ①+②-③			2,208,969 ④
その他			0

3. 残高（令和二年7月末）

口座残高	<u>2,208,969</u> ⑤
積立金	<u>1,300,000</u> ⑥
実質残高	<u>908,969</u> ⑤-⑥

④の全体収支と、⑤の口座残高（令和二年7月末現在）が一致していることが確認された。